

訓練① 病床確保に係る情報伝達訓練

訓練の目的

- 有事における感染症患者の入院病床の確保については、一般医療にも配慮しつつ一定の準備期間が必要となるため、早い段階から、各関係医療機関の病床確保計画を県対策本部が把握し、医療提供体制の迅速な立上げや流行状況に応じた病床数の設定につなげることが重要である。
- このため、入院病床の確保に関する医療措置協定を締結している医療機関（第一種協定指定医療機関、後方支援医療機関）を対象として、感染症危機発生時を想定した情報伝達訓練を実施し、感染症有事体制への移行の円滑化を図る。

訓練の概要

- 日 時 令和8年1月20日（火）～22日（木）（全ての医療機関の報告が確認でき次第終了）
- 実施形式 オンライン（G-MIS上）
- 参加対象 協定締結医療機関（対象は下記のとおり）
 - ・第一種協定指定医療機関
 - ・第二種協定指定医療機関のうち、後方支援に関する協定を締結している医療機関
 - ・上記以外の医療機関のうち、後方支援に関する協定を締結している医療機関

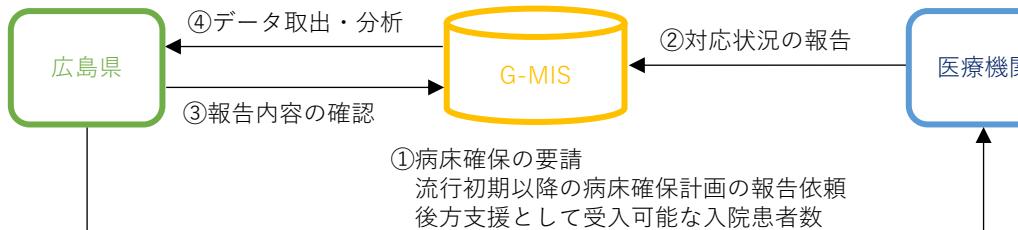
○スケジュール

日時		内容
1月20日（火）	10:00	【県→協定締結医療機関】病床確保の要請等に関する通知発出
	↓	【協定締結医療機関】各院で対応を議論し、G-MIS上で報告
1月22日（木）	↓	：
		【県→協定締結医療機関】全医療機関の報告を確認次第、訓練終了の通知発出

○実施内容

【設定】※下記設定に加え、X感染症の病原性に関する条件を訓練開始時に示す。

- ・1月1日、海外で新型インフルエンザ等疑い（X感染症）の発生が確認された。
- ・国の要請を受けて都道府県は、感染症指定医療機関へ1週間以内の感染症患者受入体制の確保を要請した。
- ・1月19日、国及び都道府県がX感染症対策本部を設置・公表した。
- ・翌日、県は、国内1例目発生直後からの即応病床を確保するよう、第一種協定指定医療機関（流行初期のみ）へ要請するとともに、全ての第一種協定指定医療機関に対し、流行初期以降の病床確保計画をG-MIS上で報告するよう依頼した。



- ・各医療機関からの報告内容は県内の実態として集計する。
- ・後日実施する訓練②において、医療機関の名称が分かるフォーマットで参加者に共有し、実数值データとして活用する。

※病原体特性に関する条件を付与

訓練② 病院長を対象とした感染症危機管理対応訓練

訓練の目的

- 感染症危機発生時の入院医療体制については、医療措置協定の締結等により平時からの病床確保が進んでいるが、一般医療にも配慮した病床数のフェーズコントロールや症状軽快例の転院促進による病床確保方策（患者搬送方法を含む）、休日・夜間・院内感染発生時の患者受入体制等について、県と医療機関又は医療機関同士でのすり合わせは十分に行われていない。
- このため、関係医療機関の長による実数値（確保病床数等）を用いた机上訓練を実施し、各医療機関の指揮命令系統に対する意識醸成や医療措置協定の実効性の向上を図る。

訓練の概要

- 日 時 令和8年1月31日（土）14:00-17:00
- 場 所 広島県医師会館（広島市東区二葉の里3丁目2-4） 会議室 他
- 参加対象 協定締結医療機関（※）の長、関係団体の長、感染症医療支援チーム構成員（患者搬送関係）、感染症専門員、保健所長
※第一種協定指定医療機関
第二種協定指定医療機関のうち、医療人材派遣又は後方支援に関する協定を締結している医療機関
上記以外の医療機関のうち、医療人材派遣又は後方支援に関する協定を締結している医療機関
- スケジュール

時間	内容	会場
14:00	開会、あいさつ、講話（本訓練の意義）、事前説明	ホール
14:30	机上訓練（グループ討議30分×2回）	201/301会議室
15:30	休憩	
15:45	全体発表	
16:45	総括・講評	ホール
17:00	閉会	

- 実施内容

討議テーマ		
総論	A	病床確保を開始するタイミング
	B	病床の段階的な開放
各論	C	時間外における患者受入体制
	D	重症等患者の受入
各論	E	後方支援対応
	F	医療人材の受入

【設定】※下記に加え、X感染症の病原性に関する条件を事前に示す。

- ・第一種協定指定医療機関はG-MIS上での報告（訓練①）を行った後、病床の即応化に向け準備を進めている。
- ・県は、早期の医療提供体制確保に向け、各機関の意思決定者を集めた会議を開催する。
- ・当該会議において、県内の実態（訓練①で得られた情報）やX感染症に関する情報を踏まえた議論を行い、具体的な対応策を検討する。

■ グループ討議

- ▷ 病院長は二次医療圏域別のグループ（5～7名）に分かれて討議を行う。
- ▷ 討議テーマ（上表参照）は、グループごとに指定する。

■ 全体発表（ホール）

- ▷ 対応や考え方の違いから気づきを得る。
- ▷ 様々な視点から、医療機関の具体的な対応イメージを共有する。